燈 -tomoshibi- ┆ 学習指導案（参考モデル）

社会科｜昔の暮らしと火

対象：小学1年生〜高校3年生（学年に応じ調整）

想定人数：10〜40名 / 4〜5名で火起こし器1台 / 屋外を基本

学習目標

火の利用が暮らしに与えた影響を考え、先人の知恵を体験から理解する。

授業の展開（90分モデル）

01	10分	昔の暮らしで火が必要だった場面を予想する
02	25分	火を生む方法と道具の変化について確認する
03	15分	役割を分担し、紐切り式の火起こしに挑戦する
04	25分	現代の道具との違いと工夫を話し合う
05	15分	生活の変化と火の価値について振り返る

45分版は各工程を短縮して実施。実験・再挑戦の時間を重点的に確保します。

必要な準備物

紐切り式教材・ワークシート・水や消火用具・施設に合わせた安全マニュアル

安全上の留意事項

実施場所の火気使用許可・指導者の監督・火種と消火の管理を事前確認します。

本書は燈の授業案のサンプルです。文部科学省の公式学習指導要領ではありません。
実施前に対象学年・教科の目標・安全条件・実験内容を調整してください。